

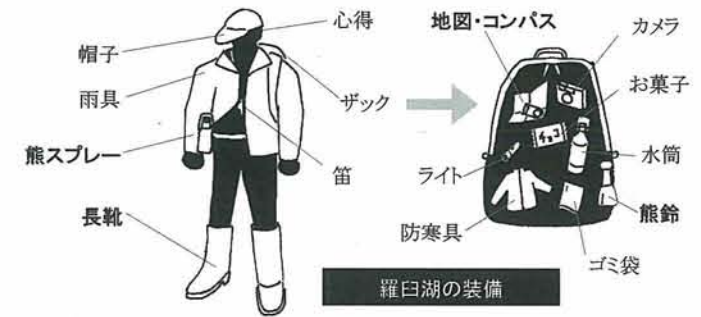
- ☐ それでも近づいてきた場合は、あなたは攻撃対象または餌と考えられている可能性が大了。武器を持ち、覚悟を決めてください。熊スプレーを持っていれればロックを外し、限界(5m 以内)までひきつけてから噴射します。ナタや丈夫な木の棒を持っている場合は鼻先を狙いたたきつけます。
- ☐ どうしても怖くて動けない、または武器をまったく持っていない場合は、うつぶせに伏せ、両手で首筋を守り、致命傷を防ぎながらヒグマの攻撃にじっと耐えると、生き残る確率が高いと言われています。

(5) 人を守り、ヒグマを守り、ヒグマの棲む森を守るために

- ☐ ヒグマは個性が豊かです。安全なヒグマ、危険なヒグマがいます。もし食料やゴミを取られたり、人や食料に対して意図的に近づくヒグマが確認された場合、あるいは追跡を受けたり、事故が発生した際には、自然保護官事務所(ウトロ・羅臼)、羅臼町役場または知床自然センターのいずれかに速やかに連絡してください。皆様の冷静かつ慎重な行動が、他の利用者の安全、ヒグマそしてヒグマの棲む森を守ります。

5. 服装や装備について

羅臼湖は標高約730m。山岳地帯のため天候が急変しやすく、夏においても気温が10℃以下になることがあります。迷いやすいところがあり、ヒグマも生息していますので、服装・装備を十分にした上で、散策を楽しんでください。



装備チェックリスト

- ☐ 雨具 (天候が急変することがあります) ☐ 熊鈴・ホイッスル
☐ 防寒具 () ☐ 熊スプレー (ナタ)
☐ 長靴 (植生保護のため是非お願いします) ☐ 地図・コンパス
☐ お菓子 (匂いの強くないもの) ☐ ゴミ袋
☐ 目立つ服装 (知床峠から歩く場合) ☐ 帽子
☐ 水筒 ☐ ライト ☐ 図鑑 ☐ カメラ ☐ 現地情報 等
※ その他各自で必要と思われる装備をご用意下さい。

6. アクセス

羅臼湖入り口には駐車場がありません。歩道入り口までは知床峠から歩くか、バス・タクシーの利用をお願いします。

(1) 徒歩での利用

知床峠から車道を約3.4km歩きます。所要時間は約50分です。知床峠付近は濃霧のため見通しが悪くなることが多々あるため、車から目立つよう反射板や目立つ服装を身に付け、事故のないよう十分に気をつけてください。

(2) バスでの利用

羅臼湖入り口のバスの時刻表は以下の通りです。

行き先	ウトロ方面	羅臼方面
※平成19年 5月	11:00	12:00
	11:00	12:00
	11:00	12:00
	11:00	12:00

【羅臼湖入り口からの所要時間】
⇨知床峠 約 5分
⇨知床自然センター 約40分
⇨羅臼ビジターセンター 約20分

※バス運行は変更になる場合があるので、バス会社にお問い合わせください。

○斜里バス TEL:0152-24-2054 ○阿寒バス TEL:0153-87-2046

(3) タクシーでの利用

最寄のタクシー営業所は以下の通りです。

○羅臼ハイヤー TEL:0153-87-2002

○ウトロ観光ハイヤー TEL:0152-24-2121

※羅臼湖入り口では携帯電話は通じにくいのでご注意ください。

利用者マップ(仮称)素案 資料2-4

知床国立公園

羅臼湖



～皆様の安全と自然環境を守るために～

環境省 釧路自然環境事務所

お問い合わせ先

【マップ問合せ先】

環境省 北海道地方環境事務所

○ 釧路自然環境事務所

〒085-8639 北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎4階
Tel:0154-32-7500 Fax:0154-32-7575

○ 羅臼自然保護官事務所

Tel:0153-87-2402 Fax:0153-87-2468

○ ウトロ自然保護官事務所

Tel:0152-24-2297 Fax:0152-24-3646

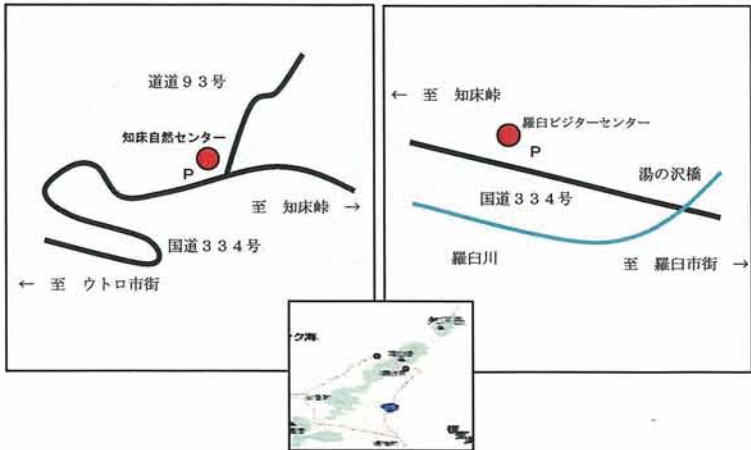
【現地情報・現地連絡先】

○知床自然センター

Tel:01522-4-2114

○羅臼ビジターセンター

Tel:0153-87-2828

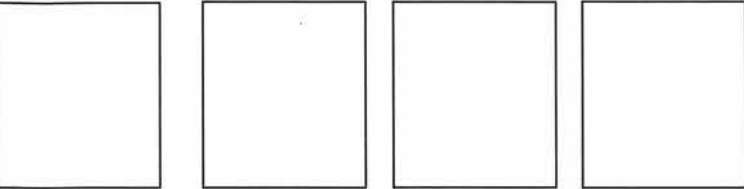


1. 羅臼湖の自然と魅力

羅臼湖は、水面の面積が40haを越える知床国立公園内最大の湖沼で、その広大な景観は知床でも特異なものとされ、本公園の核心の一つに位置付けられています。知床峠から羅臼市街へ向かう途中に歩道入口があり、森林限界付近にある五つの小さな沼や湿原をこえ、羅臼湖に到達します。入口から往復3時間程度で知床本来の静けさと、原生的な景観にふれることができる魅力ある地域です。

羅臼湖一帯は、高山植物と湿原性植物に富んでいます。足元をご覧ください。小さな花がひっそりと咲いています。初夏には、様々な植物が可憐な花を付け、湿原の彩りを豊かなものにしてしています。また野鳥も多く、ルリビタキやギンザンマシコ、アオジ、クロジ、ウソ、ツツドリ、オオジシギ、マガモ、キンクロハジロなどを見ることができます。

残雪豊かな春先から、可憐な花が咲き誇る初夏、緑豊かな夏、そして秋の紅葉の静けさまで、四季折々のすばらしい自然が、羅臼湖にはあります。



2. 羅臼湖を散策する皆様へ

—— 素晴らしい自然環境を残していくために守ってほしいこと ——

皆様だけでなく次に訪れる方々も、知床の羅臼湖ならではの自然体験をずっと味わえるよう、利用の痕跡を残さないように努めてください。環境保護に対する意識を持ち、野生動物の行動を変化させないよう配慮し、自然環境への影響を極力抑えるよう努力してください。そのために以下の注意点を守ってください。

皆様の行動・心がけが、羅臼湖の素晴らしい自然を守ります。

(1) まずは最新の情報を入手

- ☐ 羅臼ビジターセンター、知床自然センター等では、ヒグマ出没状況・歩道の危険箇所・残雪状況等の安全に関する情報や、マイカー規制情報、自然情報等を提供しています。歩道へ入る際は、最新の現地情報を事前に入手してください。

(2) 自然環境への配慮

- ☐ 土石や植物、動物を採取したり、傷つけたりしてはいけません。羅臼湖は知床国立公園の特別保護地区に指定されており、こうした行為は法律で禁止されています。焚き火も禁止です。
- ☐ ゴミは全て持ち帰ってください。自然の中に立ち入る者の基本的マナーです。なお、羅臼町内においては、観光客専用指定ゴミ袋がありますので、持ち帰ったゴミはそれを利用して捨ててください。
- ☐ 羅臼湖にはトイレがないので、事前に知床峠等で用を済ませるよう心がけてください。我慢できない場合は、湿原から50m以上離れた場所ですててください。
- ☐ 外来種が、急速に自然環境を変化させています。持ち込みを防止するため、衣服・靴等に付着した種子を除去してください。歩道入口には種子除去装置がありますので、靴底の泥をよく落としてください。
- ☐ 静かな自然環境の雰囲気を変えないために、騒いだり、大きな音を出す等の行為は行わないでください(ヒグマ対策のための行為は除く)。また、岩石、立木等に落書きをしないでください。

(3) 野生動物への配慮

- ☐ キタキツネ、ヒグマ及び野鳥等、野生動物に餌を与えてはいけません。本来の行動を変化させ、交通事故や傷害事故の原因になります。
- ☐ 野生動物を驚かしたり、追い立てたりしないでください。
- ☐ 犬等のペットは、極力同伴しないでください。ヒグマを刺激して攻撃を誘発したり、野鳥やシマリス、エゾシカ等へ強いストレスを与える原因となります。
- ☐ 野生動物の飛び出し、衝突事故が多発しています。安全な運転を心がけてください。

(4) 自然保護官(レンジャー)たちが活動しています！

- ☐ 自然保護官、森林官、指導員などが、自然環境保全のために活動しています。指示があった場合は素直に従ってください。ご協力をお願いいたします。

3. 羅臼湖散策は必ず長靴で！

—— 羅臼湖の貴重な高山植生を保護するために ——

羅臼湖の植生が傷んできています。羅臼湖の原生的な自然とその雰囲気を残していくため、以下の点に特にご注意ください。

- ☐ 歩道・木道以外の場所は、すべて立ち入り禁止です。皆さんの踏みつけで、周りの植生が影響を受けています。歩道にぬかみが多いですが、それを避けて歩道を踏み外さないでください。そのため、必ず長靴で訪れるようにしてください。木道設置区間では木道上を歩いてください。
- ☐ 湿原や高山植生等の脆弱な植生地や水際植生地への踏み込みを行わないでください。場合によっては、回復に数十年単位の時間がかかります。
- ☐ 登山道にはハイマツが覆いかぶさっているところもありますが、法律に触れますので、許可なく枝などの刈り払いを行ってはいけません。

—— 大変迷いやすいです！！ ——

- ☐ 特に残雪期(～6月)には、歩道が雪に埋もれて隠れ、霧も出やすくルートが大変わかりにくいです。そんな不便さも羅臼湖の魅力ですが迷いやすいため、地図・コンパスを持ち、帰り道を確認しながら歩いてください。

4. ヒグマ対策

—— ヒグマがたくさん棲んでいます！！ ——

羅臼湖は、ヒグマの高密度生息地(4頭以上！)であり、いつでもヒグマに遭遇する可能性があります。皆様の安全確保と、ヒグマの本来の行動様式を変化させないために、以下の注意点を必ず守ってください。

皆様の行動・心がけが、いつまでもヒグマが暮らせる知床の自然を守ります。



(1) ヒグマの棲む森に入るにあたって

- ☐ クマスプレー、鈴、ホイッスル等安全管理、事故防止のための装備を備えてください。こうした安全のための装備は、登山用品店で販売している他、知床自然センターなどで貸し出しています。

(2) ヒグマに出会わないために

- ☐ ヒグマとばったり出会うことが人身事故の主な原因です。熊鈴など音の出るもので常に人の存在を知らせ、特に見通しの悪い場所では大きな声・音を出してください。また、夜間や薄明薄暮、濃霧の時など視界が効かない時は、なるべく行動しないよう心がけてください。
- ☐ 歩道での食べ歩き、弁当ガラやジュース缶等のゴミを捨てる行為は、ヒグマを誘引する自殺行為です。
- ☐ ヒグマの行動は季節により変化します。立ち入りを控えるよう指示された場所には立ち入らないことが、長生きのコツです。
- ☐ 糞や足跡、食べ跡などヒグマの痕跡があった場合は特に注意してください。
- ☐ エゾシカ等の死体があった場合、ヒグマが餌付いていることがあります。餌を守ろうとするヒグマから突然攻撃を受ける場合がありますので、周囲の音やにおいにも気を配りながら、すみやかに離れてください。

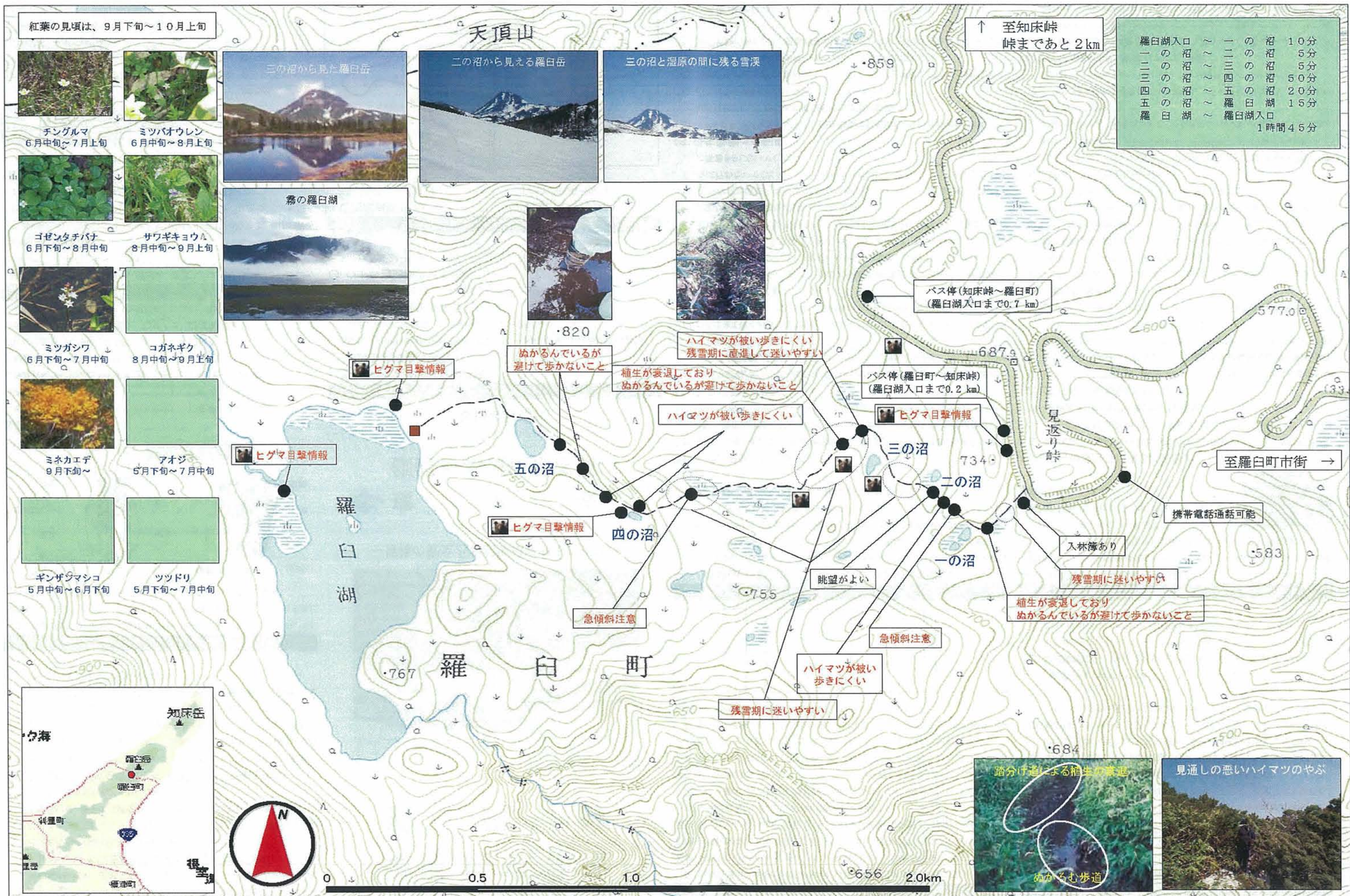
(3) ヒグマに出会ってしまったら

- ☐ 進行方向にヒグマがいる場合は、可能な限り引き返してください。特に、食料やゴミを取られたり、人や食料に対して意図的に近づく個体が確認された場合は、速やかに引き返すことが生き残るコツです。(取られたものを取り返すことは命取りです。)
- ☐ ヒグマに絶対に餌を与えてはいけません。もし餌を与えた場合、いずれあなたかあなたの仲間、または後に訪れる方が犠牲になる可能性があります。

(4) ヒグマが近づき、攻撃してきた場合

- ☐ 近づいてきた場合、大きな声・音を出し人間がいることをアピールしてください。何人かいる場合は、バラバラにならず固まって行動してください。木の棒を持ったり、布を広げて自分を大きく見せることも攻撃回避に効果的です。
- ☐ ヒグマから目をはなさないことが重要です。目を見ながらゆっくり後退してください。走るなどの急な動きはヒグマを刺激します。

知床国立公園羅臼湖 (平成18年12月20日 改訂)



(3)ヒグマに遭遇しないために

- ☐ 動物への餌やり、食べ物の持ち込み、ゴミ捨て、ペットの連れ込みはヒグマを誘引する自殺行為ですので絶対にしないで下さい。
- ☐ ヒグマ出沒時の対応を考慮した設定となっていますので、歩道順路は遵守して下さい。また非常時は指導員の指示に従って行動下さい。

6. 五湖を楽しむ、守るためのポイント

—— 混雑を避け、五湖ならではの自然を楽しむために ——

- 知床の自然体験をより魅力的にするため、皆様のご協力をお願いします。
 - ☐ 公共交通機関を活用しましょう。夏期シーズンはウトロ温泉ターミナルや知床自然センターからシャトルバスが運行され大変便利です。
 - ☐ マイカー等でお越しの際は、混み合う時間は限られていますので、時間をずらすなど、一工夫することで、渋滞を避けることができます。
- 混雑時期：お盆、夏期シーズンの週末の終日
- 夏期シーズンその他時期 10 時台、14 時台、15 時台

- ☐ トイレも混雑しますので事前に済ませておくとう安心です。

—— 知床五湖の貴重な自然を再生・保護するために ——

- ☐ 歩道の踏み外し、ショートカット利用により歩道が広がり、周りの植生が影響を受け裸地化が進んでいます。混雑時は、お互いに声をかけるなどし、歩道を踏み外さないでください。グループ行動を取られる方は他の方の利用も配慮し道をふさがないように配慮して下さい。

—— 皆様が安全に自然を楽しむために ——

- ☐ 「ヒグマの棲み家におじゃまする」ということを利用者の皆様ひとりひとりが意識し行動してください。(5. ヒグマ対策の欄参照)
- ☐ 木道の隙間、岩、ぬかるみなど足下には充分注意してください。
- ☐ 混雑期、駐車場では車と歩行者が錯綜しますので十分にご注意ください。
- ☐ 枯れ枝が落ちてくることがありますので頭上にも気をつけてください。

—— 快適に楽しむための服装のポイント ——

- ☐ 高架木道を散策される方は軽装でも可能ですが、足下は運動靴の方がより安心です。
- ☐ 周回歩道にはぬかるみ等がありますので、ある程度の装備(登山靴、長靴)を準備しましょう。
- ☐ 冷え込みや雨天に備えて、防寒着、雨具等を準備しましょう。

7. アクセス

ウトロ中心街から車で約20分です。

有料駐車場が整備されていますが、連休・お盆等の時期は渋滞しますのでバスの利用をお勧めします。公共機関の利用は環境への配慮にも繋がります。

(1)駐車場(有料)

利用期間：4月下旬～11月下旬	時間：午前7時～午後6時半
料金(終日1回)：普通車	410円
オートバイ	100円
大型バス	1,630円
マイクロバス	820円

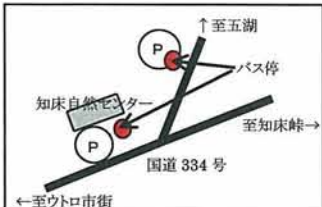
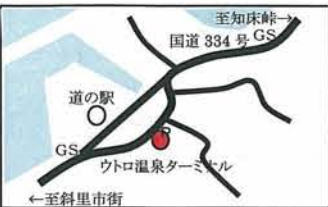
(2)バスでの利用

ウトロ温泉ターミナル・知床自然センターから、バスが運行されています。

なお知床斜里駅からは本数が限られます。

運行内容については事前にご確認下さい。(斜里バス：0152-24-2054)

料金：知床自然センター～五湖	片道 590円(小人300円)
ウトロ温泉ターミナル～五湖	片道 900円(小人450円)



※五湖駐車場に車を停めてカムイワッカにはいけません！ご注意下さい。

利用者マップ(仮称)素案

Vol.1 2007/4 版

知床国立公園

知床五湖



～皆様の安全と自然環境を守るために～



お問い合わせ先

【マップ問合せ先】

環境省 北海道地方環境事務所

○ 釧路自然環境事務所

〒085-8639 北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎4階
Tel:0154-32-7500 Fax:0154-32-7575

○ ウトロ自然保護官事務所

Tel:0152-24-2297 Fax:0152-24-3646

○ 羅臼自然保護官事務所

Tel:0153-87-2402 Fax:0153-87-2468

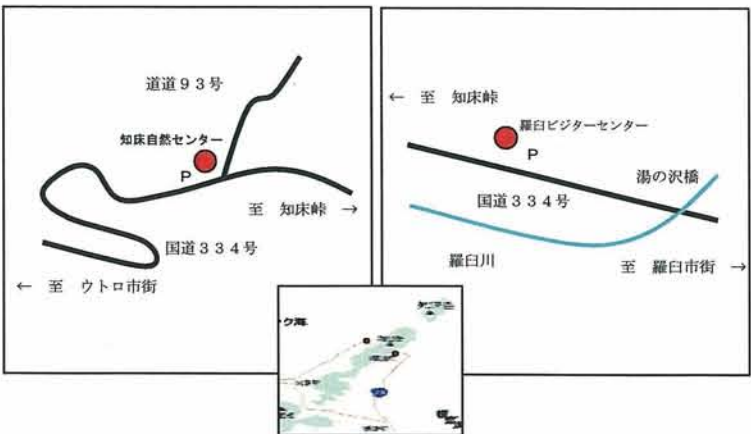
【現地情報・現地連絡先】

○ 知床自然センター

Tel:0152-24-2114

○ 羅臼ビジターセンター

Tel:0153-87-2828

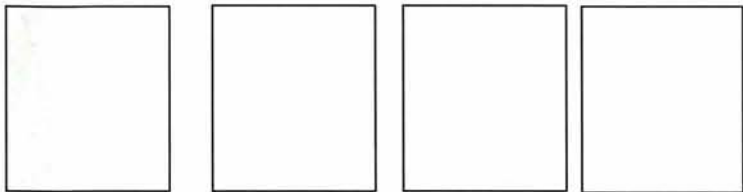


1. 知床五湖の自然と魅力

「神の指が五つの湖をつくった」とアイヌ民族の間に伝わる知床五湖は、知床の魅力が集約された知床国立公園の代表的な景勝地であり、アクセスが容易なことから、年間50万人以上の利用者が訪れる知床最大の利用地となっています。

五つの湖の水は連山からの伏流水によって供給されるのが特徴で、出入りする川のない静かな湖面は周辺の原生林、遠景の知床連山とともに神秘的な風景をかたち創っています。周辺には湖畔を巡る歩道や気軽に利用できる高架木道が整備され、その風景をゆっくりと楽しむことができます。

またまわりをよく観察すると木々のエゾシカの食痕や、糞、またはヒグマの爪痕といった動物たちの痕跡や、ミズバショウ、エゾミソハギなど四季折々の花々を見ることができます。是非じっくりとたちどまって知床ならではの風景といきものたちの息吹を感じ取って下さい。



2. 知床五湖を散策する皆様へ

—— 素晴らしい自然環境を残していくために守ってほしいこと ——

知床五湖ならではの自然体験をいつまでも味わえるよう、今ある自然を引き継いでいくことが大切です。皆様は、知床五湖の自然環境が損なわれることのないよう、自然環境の保護に対する意識を持ち、野生動物の行動が変化しないよう配慮し、自然環境への影響を極力抑えるよう努力してください。そのために以下の注意点を守ってください。

皆様の行動・心がけが、知床五湖の素晴らしい自然を守ります。

(1)まずは最新の情報を入手

- ☐ 羅臼ビジターセンター、知床自然センター等で、ヒグマ出沒状況等安全に関する情報や、マイカー規制、自然情報等の最新の現地情報を提供しています。歩道についてはヒグマの出沒により閉鎖されることがありますので現地に入る際には極力情報を入手してください。

(2)自然環境への配慮

- ☐ 土石や植物、動物を採取したり、傷つけたりしてはいけません。木道を踏み外して歩かないで下さい。植物を傷つけることにつながります。五湖は知床国立公園の特別保護地区に指定されており、こうした行為は法律で禁止されています。
- ☐ ゴミは全て持ち帰ってください。自然の中に立ち入る場合の基本的事項です。
- ☐ 踏みつけ等により裸地化がすすみ、保護が必要な場所は倒木等で塞いでいます。立ち入らないで下さい。

(3)野生動物への配慮

- ☐ キタキツネ、ヒグマ及び野鳥等、野生動物に餌を与えてはいけません。
- ☐ レストハウスで販売しているソフトクリーム等、ヒグマを誘引する食べ物の持ち込み、食べ歩きは周回歩道、高架木道とも厳禁です。レストハウス周辺で食べてください。
- ☐ 野生動物を驚かしたり、追立てるなどの行為を行わないでください。
- ☐ 犬等のペットは、同伴しないでください。ヒグマに刺激を与え、また小さな野生動物への強いストレスとなります。
- ☐ エゾシカやキタキツネ等野生動物の飛び出し、衝突事故が多発しています。人にとっても、野生動物にとっても安全な運転を心がけてください。

(4)自然保護官達が活動しています！

- ☐ 自然保護官、森林官、指導員などが、自然環境保全のために活動しています。指導、指示があった場合は素直に従ってください。ご協力をお願いいたします。

3. 知床五湖の現状と課題

—— 年間50万人以上の来訪者…利用の集中が招く問題 ——

知床五湖は、年間50万人以上の方々に利用され、大変親しまれている場所と言えますが、その一方で一定の時期大変な混雑に見舞われ、利用者の方々の快適な利用を妨げたり、また歩道沿いの自然環境の荒廃を招いたり様々な問題が発生しています。

(1)渋滞

- ☐ 駐車場に至る道路はお盆の時期、また夏期シーズンの週末には特に混雑し、渋滞が発生します。ピーク時には1kmもの渋滞が発生しています。

(2)混み合うトイレ

- ☐ 駐車場に隣接しトイレが整備されていますが、規模は限られています。駐車場と同様、お盆の時期、夏期シーズンの週末には大変混雑します。特に女性用トイレは長蛇の列が発生します。



(3)踏み外しによる自然の荒廃

- ☐ 一湖、二湖沿いには木道を主とした周回歩道が整備されています。自然環境になじむものとするため、歩道幅はあまり広くしていません。

前のグループを追い越すなどの行為によって、歩道周辺の裸地化が進み景観の悪化、植生への影響が進行しています。一度裸地化した場所に再び植物が戻るには長い年月が必要になります。何気なく踏み外した一歩が自然の破壊を招いてしまします。

(4)ヒグマとの共生

- ☐ 知床は「ヒグマ」で有名ですが、知床五湖も例外ではありません。周回歩道周辺には、所々にクマの痕跡が残されています。皆様が安全に利用できるよう、地元ではパトロール、追い払い、木道の一時閉鎖といった管理活動や電気柵を設置し、ヒグマの侵入を抑制する安全対策を実施していますが、それだけでは安全な利用を保つことができません。「ヒグマの棲み家におじゃまする」ということを利用者の皆様ひとりひとりが意識し行動することが必要です。

4. 五湖高架木道について

—— 五湖を気軽に楽しむ絶好ポイントができました！ ——

知床五湖に訪れる多くの方が、より快適に、安全に自然を楽しめるよう、平成18年4月より高架木道・展望台の供用を開始しています。

- ☐ バリアフリー対応 幅2mで段差のない構造 車いすも可能です。靴も汚れません。

- ☐ 魅力的な眺望 一湖、草原、オホーツク海、連山への雄大な眺望

- ☐ 環境への配慮 周辺の植生や景観への配慮

- ☐ ヒグマ対策 地上高2m ソーラーエネルギーによる電柵を併設 高い視点からの眺望はおすすめです。是非ご利用下さい！



5. ヒグマ対策

—— 五湖はヒグマの棲み家です！！ ——

五湖は、ヒグマの高密度生息地であり、パトロール、歩道閉鎖等の安全管理を行っていますが、いつでもヒグマに遭遇する可能性があります。

(1)五湖のヒグマの痕跡

- ☐ 五湖の周回歩道沿いには、ヒグマの痕跡が見られます。
- ☐ 初夏にはミズバショウを食べにやってきます。

(2)ヒグマ対策の紹介

- ☐ 知床財団が中心となって、ヒグマのパトロール、追い払い等、皆様の安全のための監視活動を実施しています。ヒグマ出沒時は安全のため歩道を閉鎖しますので、ご理解とご協力をお願いします。

- ☐ 高架木道にはヒグマの侵入を抑制するための電柵を設置しています。危険ですのでさわらないでください。

■レンジャーひとくちコメント■

〇ここがみどころ



〇レンジャーからのお願い！！

・
・

